

【タイトル】 還るまで

【概要】

本企画は、地球に生まれたこと自体、既に私たちが絆のもとにあるという発想のもとに、ある発せられたメッセージを知ったことをきっかけに、そのように感じたことがあると思われる多くの同胞へ、本の形であれば、想いを届けることができるかもしれないと希望を託して語りかけた内容です。

死に向かいたい願望は、「還りたい」の異なった表現なのではないかと問いかけ、この星に生まれてきた目的を思い出そうと誘います。

幼い頃から、生まれてきた目的を忘れず一心に進む魂もいらっしやると思いますが、思い出しそうでも思い出せず、この世界の目前に展開される事象にその優しさ純粹さゆえに翻弄され、生まれてきた本来の目的をつかの間の今、忘れていた魂に、ようやく思い出し、静かな心で自分を生き始める、きっかけの一冊になったらいいなと願っています。

【想定する読者ターゲット】

- ① 10～100歳代の男女、様々な性認識の方々
- ② 生まれてきた目的を思い出している先輩方、そして思い出したいみなさま
- ③ 疲弊し、喜びがないと感じたことのあるかた
- ④ 人類の幸福に寄与する仲間のあなた

【構成案】

第1章 メッセージ

- ・離れなかった言葉
- ・ある神父さまのお話し
- ・その笑顔、パフォーマンス、言葉について

第2章 幾つかの体験

- ・卒業した頃
- ・エネルギーについて
- ・本と夕焼けの色

第3章 わたくしたちはやってきた魂

- ・最初の最初の人
- ・「死にたい」というより、「還りたい」ではありませんか

第4章 あなたへ

- ・歌を愛し、詩をつくる、あなたへ

第5章 みなさまへ

- ・寄り添ってくださったみなさまへ
- ・これからお会いできるみなさまへ
- ・還るまで

## 【サンプル原稿】

### 還るまで

#### 第1章 メッセージ

##### □離れなかった言葉

いつものように仕事始め、パソコンの前でその日のネットニュースを閲覧していた朝、わたくしは、記事の中にその方のメッセージを読みました。

探そうとしていない人にでも知られることが、その業界では望ましいことと想像できる一方で、ストレスもどれほど大きくていらっしゃることか、と想像しました。

素晴らしいパフォーマンスを見せた後で、そのメッセージは発信されたとのことでした。心に残ったのは、「病気なのだと思う。」と綴られていたことでした。

静かな疑問が、提示されているように感じられたことを覚えています。

この人は、ご自分でも疑問なのだろうか？

わたくしは、それからしばらく度々、その表現を思い出していました。

死について、わたくしたちは、ある年齢になったから習う、ということがありません。ほとんど死について知らないまま、わたくしたちは大人になっていきます。

それでも死がもたげられてくるとき。

わたくしたちが望んでいるのはその実、どんなことなのでしょう。

##### □ある神父さまのお話し

友人の結婚式に参列したときのことです。

母校の教会で挙式するというので、学校付設の教会の神父さまが、新郎新婦にお祈りを捧げられました。

その後、結婚に際しての祝福と教えのお言葉のなかで、昔、神父さまに大変辛い時期がおありになったことのお話しになりました。

病院にいこうか、しかし、そのお役割柄、大変葛藤がおありになったそうです。やがてついに意を決し診療に訪れたら、病院がお休みの日で、力が抜け、そのうちそのままになり、結局お辛かった時期を脱したことがあったそうです。そしてもし、実際に病院がおり、診断をうけていけば、なにか精神的な病名をもらったと思うとのことでした。

学び舎と教会と結婚式という深遠な空気の中で、神父さまでも、そのように気持ちを保つことが困難な時があるのだ、と思ったことを覚えています。

##### □その笑顔、パフォーマンス、言葉について

その記事には、メッセージと共に、写真も掲載されていました。

その顔がまた、わたくしには忘れがたく残りました。

なんていい笑顔なことだろう。

記事では、圧巻のパフォーマンスと読みました。わたくしも追って映像で拝見しました。

まさに圧巻と表現されるにふさわしい、ワクワクするステージでした。

第一声目から、その声に引き込まれました。また、その楽しそうなダンスの様子に目も奪われました。

歌、音楽の力には畏敬の念しかありません。

歌詞、声、呼吸、リズム、全てがその歌い手独自のもので、独自の世界で、それが音に乗り、渦を巻き、そしてそれに惹かれる多くの観客をその世界にいざなっていきます。

生み出す力、魅せる力、見ている人を喜ばせる力、アーティストでいらっしやると感じました。とっても素晴らしかったです。

その言葉を読めば、その人のことを想像できます。

このように明瞭にご自身の気持ちと状態を周囲に説明できること、またされること自体、その方の美しさが表れていると感じました。

だからこそその、少し疑問形のようにも感じられた表現が、わたくしに残ったのだと感じています。

そしてそれはまた、わたくしにも、そのように思った時期があったからかもしれません。

[以上となります。よろしく願いいたします]